

エレベーター仕様要項		
基本仕様	分類	仕様項目
		01号機
		機種名称
		機械室レスエレベーター
		機種形名
		P11-C0
		用途
		乗用
		制御方式
		可変電圧可変周波数制御（回生なし）
		操作方式
		乗合全自動方式（1C-2BC）
		積載量
		750kg
	その他基本仕様	
		11名
		定格速度
		45m/min
		戸開方式
		2枚戸両引き（C0）
		出入口幅
		800mm
		出入口高さ
		2100mm
		かご室サイズ（内法開口）
		1400mm
		かご室サイズ（内法奥行）
		1350mm
乗場仕様		
		2300mm
		出入口方式
		一方向出入口
		正面側停止数
		3停止（1-3階）
		動力用電源
		AC3φ-210V-60Hz
		照明用電源
		AC1φ-100V-60Hz
		耐震設計施工指針耐震クラス
		クラスA14
		公共建築工事標準仕様 適用年版
		令和4年版
	乗場仕様	
		10mm
		車いす仕様
		制御機能付
		視覚障がい者対応仕様
		あり
		乗場視覚障がい者用注意名板（追加分）
		3枚
		地震時管制運転方式
		P波+S波センサ付3段設定（普通級）
		停電時自動着床装置
		あり
		かご呼び取消機能
		あり
乗場仕様		
		大枠末広幕板なし 130mm〜350mm ステンレスヘアライン（1-3階）
		乗場戸
		鋼板塗装（メーカー標準色）（1-3階）
		乗場数居
		アルミ製（1-3階）
		乗場インジケーター
		一体セグメントLED（橙色） ステンレスヘアライン（1-3階）
		乗場インジエ体形ボタン
		ステンレスクリックボタン（φ33・凸文字・黄橙色LED） 抗ウィルス・抗菌コート（1-3階）
		乗場インジ運行表示灯1
		休止表示
		車いす専用乗場ボタンプレート
		一般用乗場ボタン一体形 ステンレスヘアライン（1-3階）
	乗場仕様	
		ステンレスクリックボタン（φ33・凸文字・黄橙色LED） 抗ウィルス・抗菌コート（1-3階）
		乗場休止スイッチ
		あり
		乗場休止スイッチ取付位置
	乗場インジ組込	

乗場遮煙ドア設置上の条件	
・	乗場遮煙ドアを設置するためには、自動火災報知設備の設置義務の無い建物であっても、同設備を設けること。
・	自動火災報知設備の設置義務の無い建物の場合には、乗場遮煙ドア設置階のエレベーターホールに必ず煙感知器などの火災感知器を設置し、火災感知信号を自動火災警報盤を介してエレベーター制御盤に供給すること。 (無電圧α接点, 接点電圧DC24V)

エレベーター仕様要項		
分類	仕様項目	01号機
かご室仕様	天井	スタンダード：フラット（白色） 天井面材：鋼板塗装（メーカー標準色）
	正面壁	化粧鋼板
	側面壁	化粧鋼板
	袖壁材質	ステンレスヘアライン
	出入口上板	化粧鋼板
	かご室戸	化粧鋼板
	巾木	アルミ製
	かご床	樹脂タイル2mm（メーカー標準タイル）
	かご室敷居	アルミ製 2枚戸両引き用
	かご操作盤タイプ	袖壁操作盤
	かご操作盤フェースプレート材質	ステンレスヘアライン
	かごボタン	ステンレスクリックボタン（φ33・凸文字・黄橙色LED） 抗ウィルス・抗菌コート
	インターホンボタン乱用防止カバー	あり
	正操作盤インジケータータ입	かご内液晶インジケータ（10.1インチ）
	かご操作盤液晶インジケータ表示言語	2ヵ国語表示（日本語、英語）
	車いす専用かご操作盤	両側面 ステンレスヘアライン
	車いす専用正かご操作盤インジケータータ입	ドットLED（橙色）
	車いす専用かごボタン	ステンレスクリックボタン（φ33・凸文字・黄橙色LED） 抗ウィルス・抗菌コート
	車いす専用インターホンボタン乱用防止カバー	あり
	その他仕様	かご室換気
かご室手すり		丸形ステンレス 二面取付（両側面）
かご室鏡		ステンレス鏡面フルハイト（巾500）
キックプレート		板厚2.0ステンレスヘアライン（ビスなし） 高さ：床面より350mm
壁保護幕		磁石式（保護幕高さ標準：床面より上端まで1895mm）
床保護マット		あり
扶まれ防止ドアセンサ		あり
セーフティシュー		片側（多光軸センサー付き）
造煙機能		大臣認定品 2枚戸両引き用（1～3階）
点字名板取付方法		接着
インターホン呼び出しボタン応答灯 （聴覚障がい者対応仕様）		あり
おもり非常止め		なし
火災時管制運転方式		火報信号連動式
インターホン型式		6V1局
かご内アナウンス		かご内音声合成アナウンス
かご室スピーカー	あり	
高調波対策種類	DCリアクトル（K1＝1.8）	
フェッシャープレート	エレベーター手配（標準品）（2～3階）	
レール支持方式	1フロア1ブラケット	
煙感知器点検口スイッチ	正面側上部取付 【標準】	
揚重ビーム手配	建築手配	
仮設動力電源	1式	
		（NANW03370）

外部連絡装置（インターホン親機）設置上の注意点

エレベーターかご内のインターホンは、常に外部のインターホン親機と連絡できるようにすること。
 管理人室等に設置する場合は、24時間管理人が常駐する必要がある。
 （建築基準法施行令第129条の1の第3項第3号）

もしも管理人が常駐しない場合は、以下のいずれかの措置が必要となる。

1. インターホン親機を共用部（エレベーターホールや廊下等）に設置する。
2. 管理人室内のインターホン親機の鳴動を共用部や廊下で確認できるように設置し、
 鳴動を確認した者が対応できるように、シールや名板で鳴動時の緊急連絡先等の対応方法を明示する。
3. 管理人不在時にはエレベーターを使えない状況にする。

例えば、営業時間内のみ管理人室等に管理人が常駐するならば営業時間外は建物を閉鎖する。

No.01号機

除外工事事項

建築工事関係

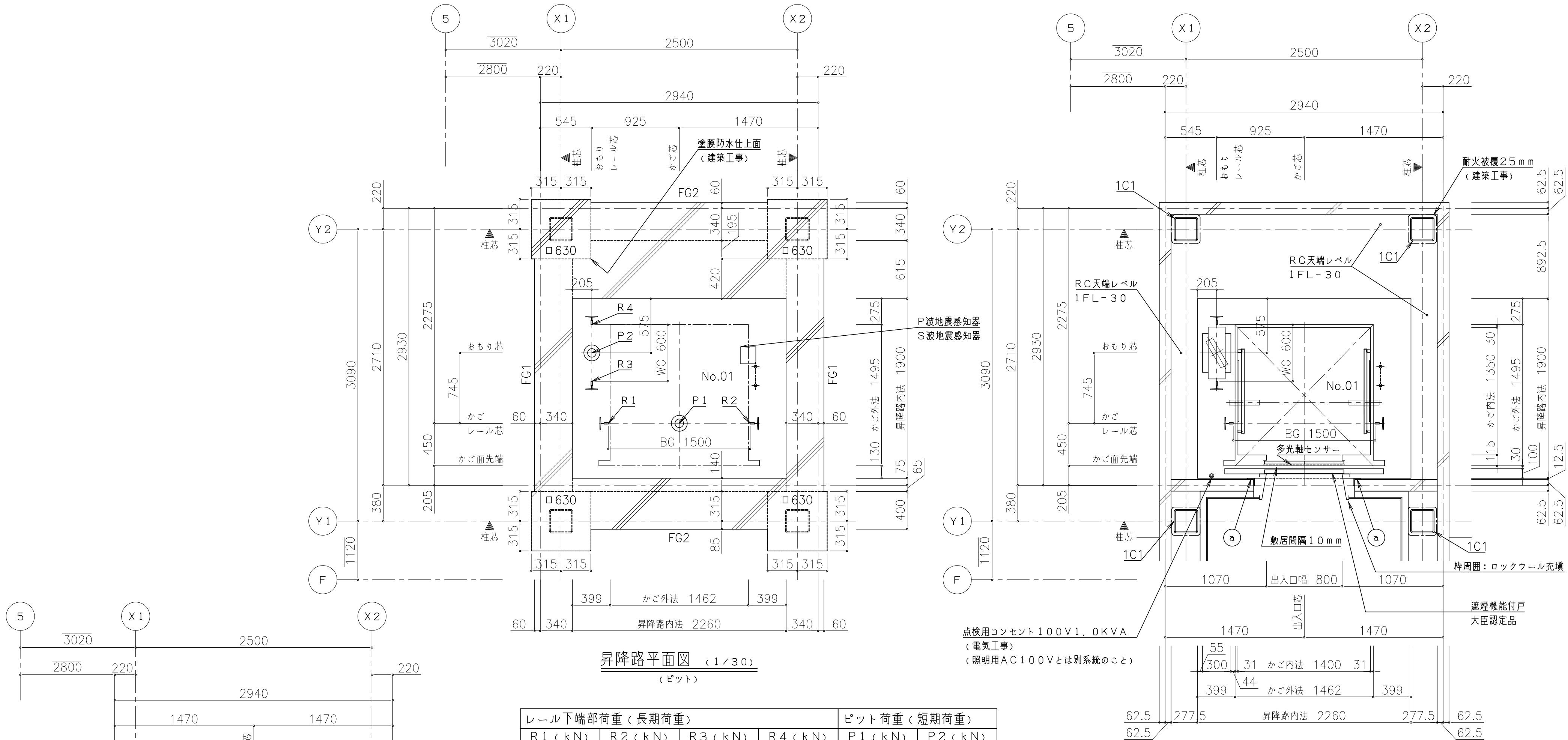
- 昇降路の築造工事及び各階出入口、インジゲータ、押ボタン等の穴あけ工事
（昇降路壁は5cm² 辺り300Nの外力が作用した時に15mmを超える変形及び塑性変形が生じない構造とすること）
- 鉄骨構造階のファスナー、立柱及び中間ビーム（必要の場合）並びに
シキイ受材の設置工事
- 鉄骨構造階の三方枠、インジゲータ、押ボタン、ハンガーケース等の取付用
鋼材設置工事
- 鉄骨構造階の敷居取付材設置工事（敷居への作用荷重に対して、たわみは
1mm以下となる部材を設置すること）
- 鉄骨構造階の昇降路における鉄骨材の耐久処理工事および乗場出入口廻りの
耐久処理工事
- 各階乗場出入口枠周囲のロックワール詰め工事
- 乗場機器取付後の出入口廻りの壁及び床の仕上工事
- 昇降路頂部にエレベーター機器重畳用のフック又はビームの設置工事
（ $\frac{1}{2}KN$ ）/台 ※別紙による
- 通過階がある場合の非常取出口設置工事（かご敷居先端から125mm以下）
- ピット内防水仕上工事（必要の際は、排水設備工事含む）
- ピット床下部使用の場合の建築対策工事
- ピットが深い場合の埋め戻し、浅い場合ははり工事
- 段違いピット時のピット内保護欄工事（必要の場合）
- 昇降路内の騒音・振動が居室に伝播しないレイアウトおよび
各種防音・防振工事
※居室への影響を検討のうえ、適切な防音・防振対策を行ってください
（対策例1）昇降路の壁（RC）を厚くする
※（200mm以上推奨）
（対策例2）隣接居室内のボードと天井を、昇降路壁（RC）に
直接接しない工法とする
（対策例3）隣接居室内のボードに制振材（鉛板）、吸音材を貼付する
- その他建築に関する工事

設備工事関係

1. 動力用電源・照明電源・接地線の受電端子迄の引込工事
(緊ぎ込み工事含む)
2. インターホン取付位置より昇降路までの配管配線工事
($0.9\phi \times 10$ 本)ノ台
3. 火報信号の昇降路より外部の配管配線工事
4. 遮煙ドア採用の場合、遮煙ドア設置降乗降ロビーに火災感知器または、
煙感知器の設置工事
5. エレベーターの遠隔管理用配管・配線工事
(昇降路内から最寄の電話中継室まで)
6. 建設設備連動に必要な接点供給工事
7. ビット内点検用コンセント設備工事
(照明用AC100Vとは別系統のこと)
8. 昇降路頂部の煙感知器設備工事(外部より点検可能なこと)
平成20年国土交通省告示第1454号第一号により点検口の戸は錠付
(工具を必要とするネジでも可)とし戸が開いた時にはエレベーターを
停止させる必要がある
9. かご内TVカメラがある場合、かご内TVカメラ用配管配線工事
(昇降路からモニター設置場所まで)、5C-2V同軸ケーブル
10. かご室スピーカーがある場合、放送用配管配線の昇降路制御室までの
引込工事
(非常放送がある場合3線式とすること)
11. 昇降路の換気設備工事(平成12年建設省告示1413号第1第三号二に
より昇降路内温度を40℃以下に保つ必要があります)
発熱量 エレベーター駆動部(880Wノ1台)
12. 監視監視電線の監視室までの引込工事及び配管配線工事

注意事項

1. 昇降路開口・奥行手又は、昇降路全体（ビット底部から昇降路頂部まで）にわたり確保のこと
 2. コンクリート強度は $21\text{N}/\text{mm}^2$ 以上のこと
 3. 電源電圧の変動は $+5\%$ ～ -10% 以内、電圧不平衡率 5% 以内のこと
 4. 本エレベーター所定の性能維持のため下記条件とすること
 - (1) 昇降路内の温度は -5℃ ～ 40℃ 以内、湿度は月平均 90% ・日平均 95% 未満かつ急激な温度変化等により水結・結露しないこと
 - (2) 金属を消耗または腐食したり電気接点の接触障害の原因となるような塵及び化学的有害ガス及び爆発性ガスのないこと
 - ①腐食性ガス：硫化水素ガス、亜硫酸ガス、塩素ガス、過酸化窒素ガス、アンモニアガスおよび海岸地区における潮風
 - ※昇降路標準環境の基準例
 硫化水素ガス $\cdots\text{H}_2\text{S}=0.005\text{ [ppm]}$ 以下
 亜硫酸ガス $\cdots\text{SO}_2=0.01\text{ [ppm]}$ 以下
 塩化水素ガス $\cdots\text{HCl}=0.05\text{ [ppm]}$ 以下
 塩素ガス $\cdots\text{Cl}_2=0.05\text{ [ppm]}$ 以下
 アンモニアガス $\cdots\text{NH}_3=0.1\text{ [ppm]}$ 以下
 海岸地区における潮風…海岸より 2km 以上の地区（プールサイドの場合は上記塩素ガス Cl_2 基準値以下）
 ※海岸より 2km 未満、プールサイドの場合は昇降路内に潮風、プール方向からの風が入らず、乗場が屋外に露出しないようなレイアウトとすること
 - ②電気接点の接触障害となるもの：鉄粉、炭塵、化学工場における粉塵
 - ③爆発性ガス、又は、粉塵：メタン、石炭ガス、ブタン、ガソリン、アセチレン、水素、エーテル、炭塵、穀粉
 - (3) エレベーターの電気信号に影響を及ぼす電磁波がないこと
電磁波の電界強度が $10\text{V}/\text{m}$ 以下の環境とすること
 - (4) 原則、昇降路の設置場所は標高 1000m 以下の高さとすること- 5. (1) 屋上等直接外気と接する乗場における雨水より設備により外部から風雨が侵入しないこと
(ひさし・風除室・水勾配・グレーチング・防漏板等)
- (2) センサ誤動作防止、及び乗場戸熱変形防止のため、屋外又は、屋内ガラス越しから乗場及び駆動・制御装置（制御盤、秤装置等）に直射日光が当たらない対策を実施のこと
- 6. 昇降路壁には電気・水道管の配管・器具を埋め込まないこと
- 7. 昇降路内には他の用途の配管・ダクト等が露出しないようにすること
(建築基準法施行令第129条の2の4第1項第三号)
- 8. 遮断器はインパクター回路対応のものを使用すること
- 9. 輸送可能な適温配膳車や台車などの重量物は 250kg 以下とすること
- 10. 換気設備を設置する場合は昇降路外部より保守可能な位置とし、設置環境により雨水或いは、防水対策を実施のこと
- 11. エレベーターの保守・点検ならびに緊急対応のため、外部階段などから最上階および最下階エレベーターホールへアクセスできる経路を確保すること（個人宅など占有部を経由しないこと）
- 12. エレベーターから発生する高周波漏洩電流と高周波ノイズにより、他の設備に影響を受ける恐れがあります
次の対策をお勧めします
 - (1) エレベーター動力と通信機器・OA機器等弱電機器の電源線・通信線を 1m 以上分離する
 - (2) エレベーターを含む動力の電源トランスと通信機器・OA機器等弱電機器の電源トランスを分離する
(エレベーター照明用電源は弱電機器のトランスと分離不要)
 - (3) エレベーターを含む機器アース線と通信機器・OA機器等弱電機器のアース線の分離配線と接地極の分離をする
- 13. 乗場壁へウレタン吹付けを行う場合は、乗場機器取付け後に施工する必要があります。乗場機器取付け前にウレタン吹付けを行うと、乗場機器取付け時の溶接の火花に引火する恐れがあります
昇降路内は不燃材もしくは難燃材（平12建告1402号で定められた材料又は国土交通大臣の認定を受けたもの）とする必要があります
※法定のオーバーヘッド寸法確保やドア装置取付けに支障が無いが、施工範囲と厚みを昇降機担当へ連絡し問題ないことを確認ください
- 14. 乗場に向かつて強風が吹く場合には、防風対策（建築事）を行うこと。風圧により乗場の戸が閉まらない恐れがあります
- 15. 製品の検査は各規格に準じた社内基準にて行います
電動機（巻上機・駆動機）：JIS-C-2110,2130, JIS C-4034-1
制御盤：JEM1021,1460
尚、電動機の温度上昇試験・負荷特性試験は型式試験結果です
- 16. かごの内装デザイン等が別途工事の場合、品質保証（変色、はがれ、劣化等の外観変化）対象外となります
また、昇降機保守対象外となります材質、構造等は以下を順守のこと
材質：不燃又は難燃認定品
構造：裝飾品（鏡等含む）には、エレベーター非常止め作動時または緩衝器衝突時は 4G （縦方向）地震時は 1G （横方向）相当の加速度が発生する可能性があるためそれに耐え、かつ接着固定による劣化を考慮した取付け構造とすること
照度：かごの床面で 50ルクス （乗用、礎台用以外にあっては 25ルクス ）以上の照度とすること
建築用途と使用環境の違いにより、早期に寿命を迎えることがあります
・かご照明の自動休止機能により、照明のON/OFF回数が多い
・かごの昇降による振動がある



昇降路平面図 (1/30)
(ピット)

レール下端部荷重 (長期荷重)				ピット荷重 (短期荷重)	
R 1 (kN)	R 2 (kN)	R 3 (kN)	R 4 (kN)	P 1 (kN)	P 2 (kN)
3. 6	23. 4	43. 4	19. 8	75. 2	63. 5

ブラケット取付のため、
ピット内の壁または梁は
最下階F L面まで立ち上
げて下さい (建築工事)

図面は塗膜防水仕上後の
有効寸法です。
モルタル防水仕上の場合は
仕上厚を考慮して下さい。

昇降路機器はピット底面・側面、
梁・壁 (コンクリートの場合) に
あと施工アンカーにより取付を行います

梁記号	巾×高さ
FG 1	400×900
FG 3	400×900

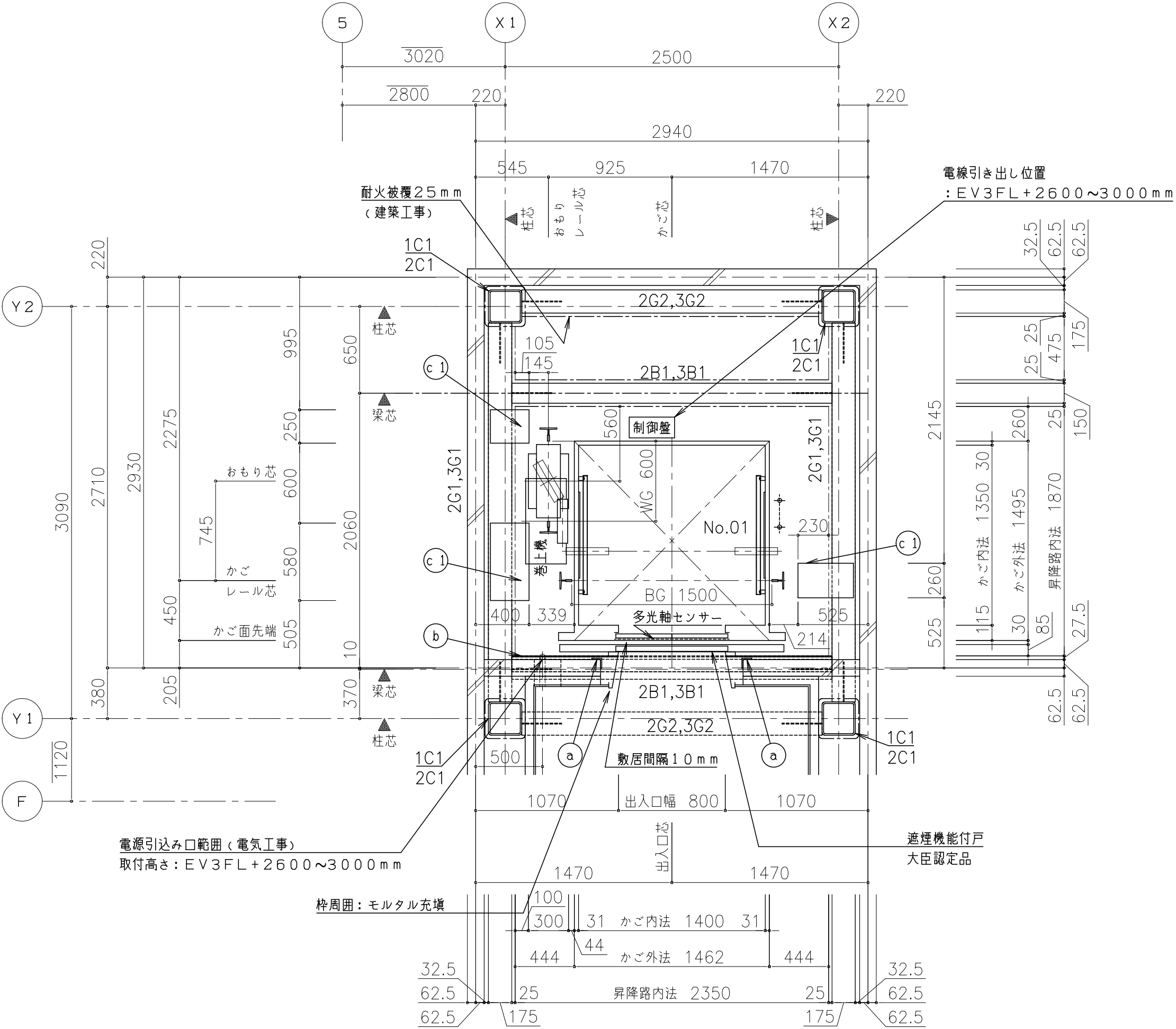
乗場正面図 (1/30)
(1-3階)

・遮煙ドア 認定番号: CAS-0519

昇降路平面図 (1/30)
(1階)

梁記号	階床	サイズ
1C 1	2階	□-250×250

部材 記号	名 称	部 材	工事区分
a	三方枠取付鋼材 (壁取付金物の昇降路内への突出不可)	L-75×75×6	建築工事



昇降路平面図 (1/30)
(2, 3階)

高調波対策（高調波流出電流計算値）

高調波対策内容	機器名称	定格容量 (kVA)	台数	合計容量 P I (kVA)	回路分類 細分No.	6パルス 換算係数 (K1)	6パルス等価 容量 [Ki×Pi] (kVA)	機器最大 稼働率 (%)	基本電流に対する高調波電流発生率In (%)							
									5次	7次	11次	13次	17次	19次	23次	25次
ノイズフィルタのみ (標準)	01号機 機械室レスエレベーター (750kg-45m/min)	4.8	1	4.8	31	3.4	16.2	25	65	41	8.5	7.7	4.3	3.1	2.6	1.8
					33	1.8	8.6	25	30	13	8.4	5	4.7	3.2	3	2.2

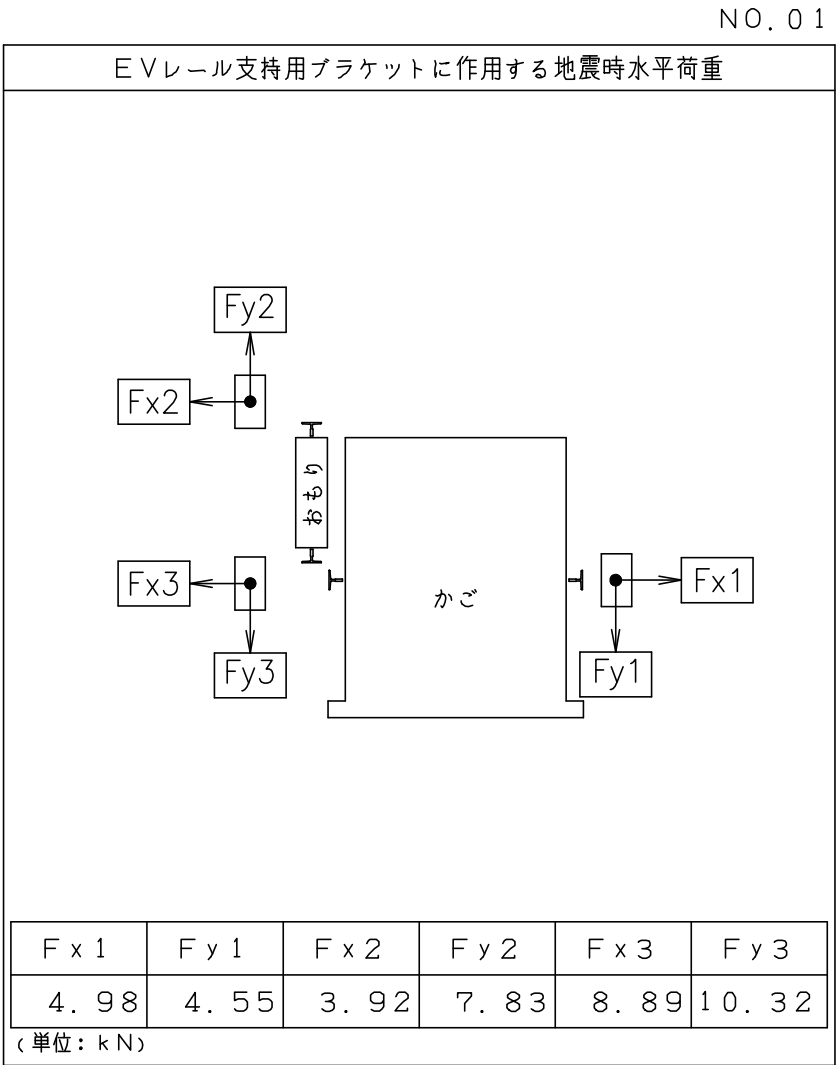
高圧または特別高圧需要家が高調波発生機器を新設、増設または更新する場合には「高圧または特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン」への適用が求められます。
ガイドラインではその需要家から流出する高調波電流の上限値を定めており、超過する場合には何らかの対策が求められます。

※ 各次数毎の高調波流出電流量は以下の計算により求めることができます。

$$\text{各次数毎の高調波流出電流量 (mA)} = \frac{\text{合計容量 P I (kVA)}}{\text{受電電圧 (kV)} \times \sqrt{3}} \times 10^3 \times \text{各次数毎の発生率 I n (\%)} \times \text{機器最大稼働率 k (\%)}$$

梁記号	階床	サイズ
1C1	2階	□-250×250
2C1	3階	□-250×250
2G1	2階	H-350×175
3G1	3階	H-300×150
2G2	2階	H-350×175
3G2	3階	H-300×150
2B1	2階	H-194×150
3B1	3階	H-194×150

部材 記号	名 称	部 材	工事区分
a	三方枠取付鋼材 (壁取付金物の昇降路内への突出不可)	L-75×75×6	建築工事
b	敷居取付材	L-120×120×8	建築工事
c1	レールブラケット取付用ファスナー	PL-t12	建築工事



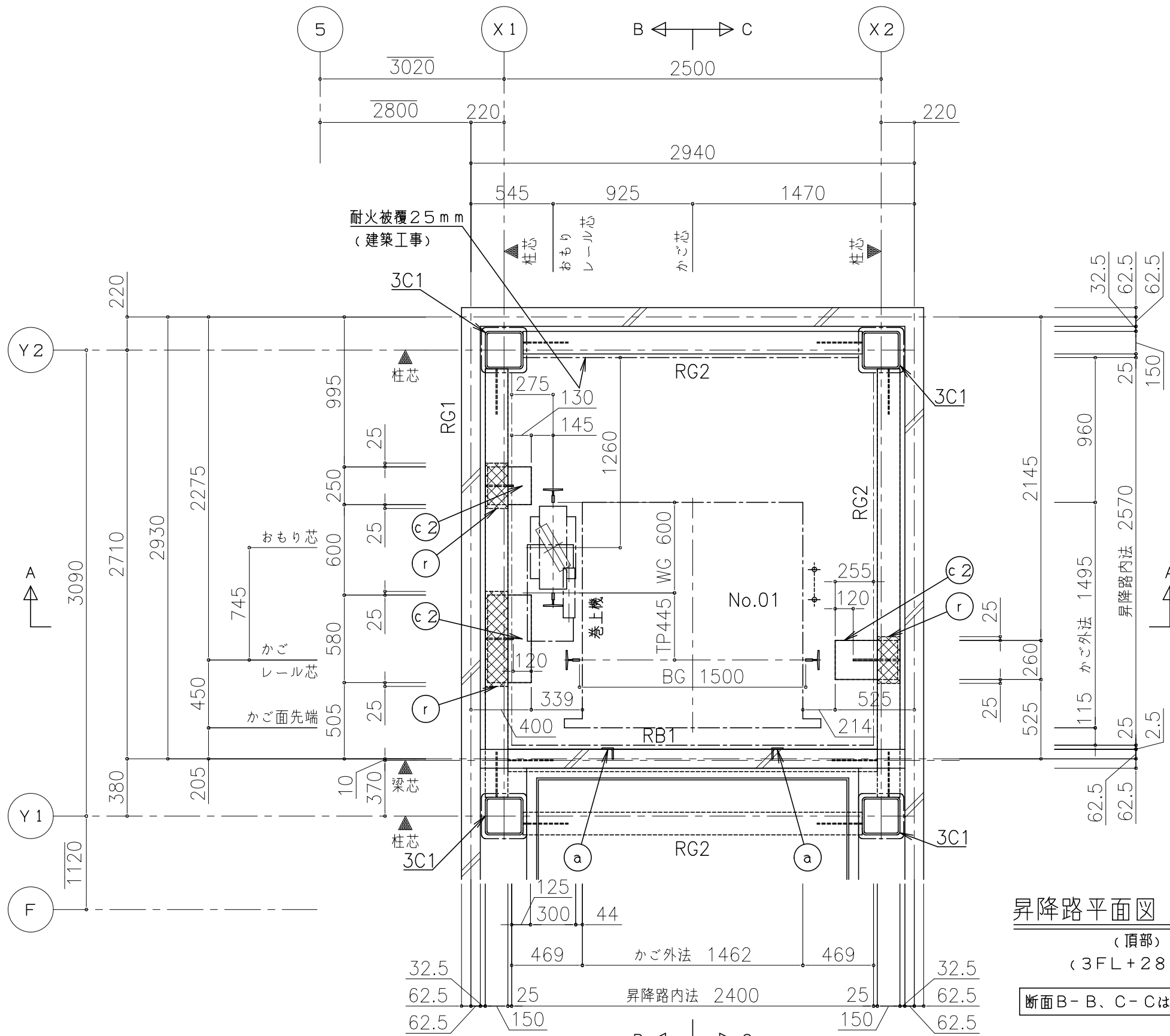
注：上記矢印の地震時荷重により柱、梁などのたわみの合計が5mm以下となるよう部材を設計のこと。又、ねじれに対し強固に取付ること。

- 電源引込み口 (EV3FL+2600~3000mm)
動力用 AC3φ-210V-60Hz
照明用 AC1φ-100V-60Hz
D種接地工事
・インターホン用配管配線工事
CPEV-0.9×5P
・火災管制運転用配管配線工事
自火報より無電圧a接点支給 (接点定格DC24V)
・遠隔監視用配管配線工事
PVC-0.65×4C
・カゴ上スピーカー用配管配線工事
HPI.2mm×3C
・電源線引出し長さ 10000mm
(電気工事)

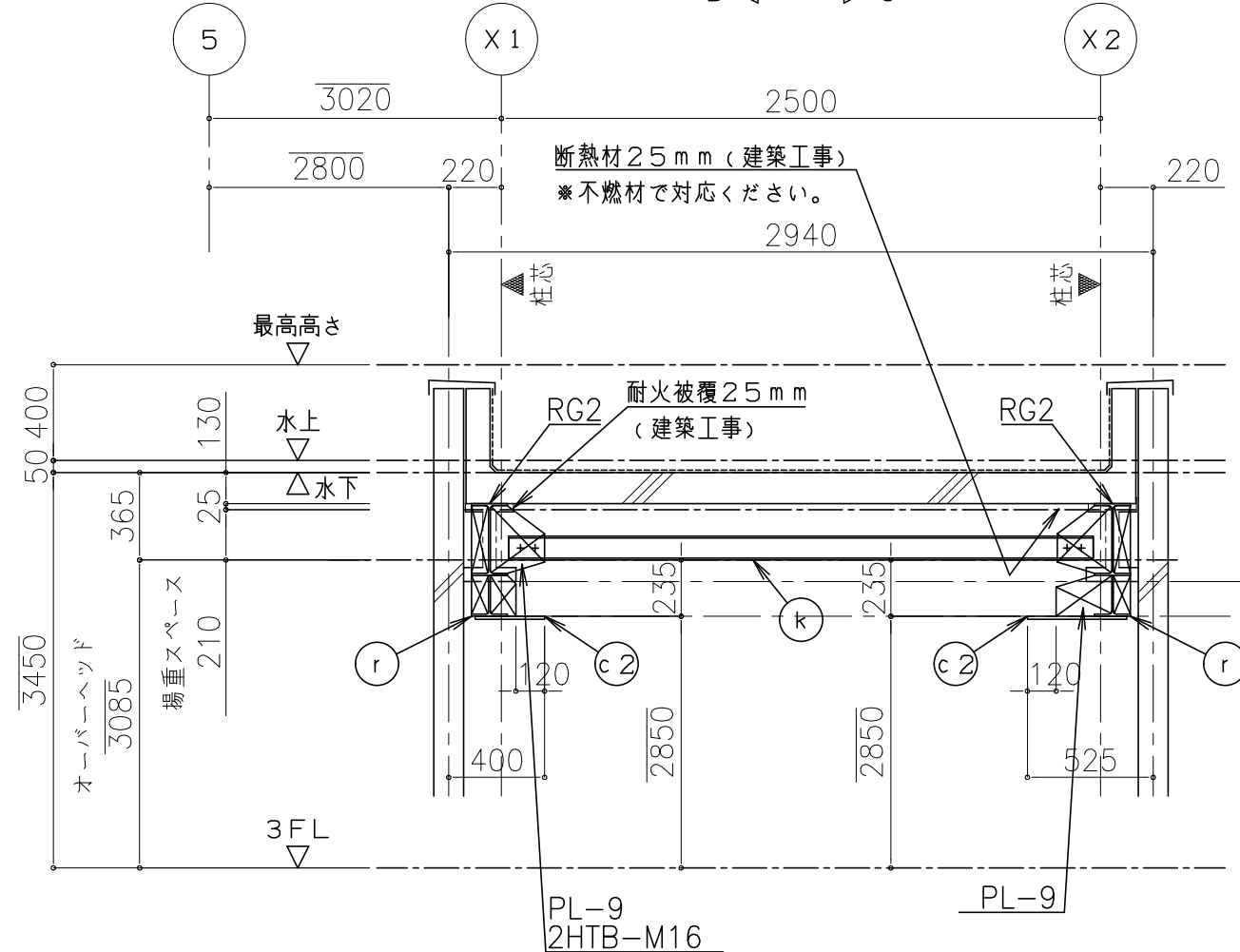
動力電源設備（CVT電線使用時）

号機名	電源電圧 周波数	電動機容量	設備容量	電源側NF容量	感度電流値* 動作時間	電線サイズ	接地線サイズ
01	AC3φ210V 60Hz	3.8kW	4kVA	40AT	100mA以上 0.2秒以上	82mまで 8mm ² 142mまで 14mm ² 216mまで 22mm ²	3.5mm ²

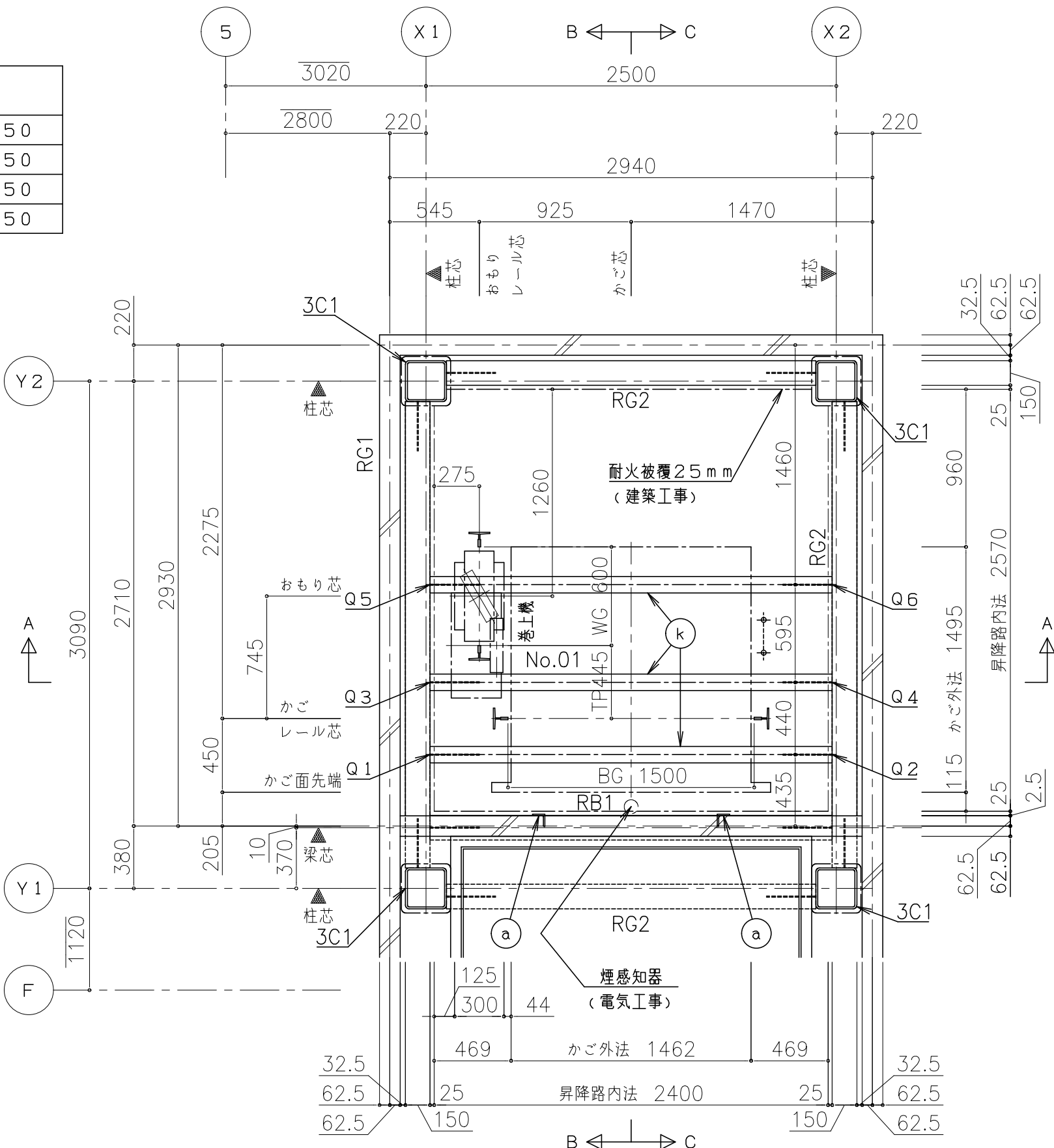
照明用電源 AC1φ100V 60Hz (設備容量1kVA/台 電源側NF容量20AT/台) (※) 電源側に漏電遮断器を設置する場合



昇降路平面図 (1/30)
(頂部)
(3FL+2850)
断面B-B、C-Cは別紙に示す。



昇降路頂部断面図 (1/30)
断面A-A
注) 昇降路頂部左右ファスナーは
水平同一レベルで施工願います



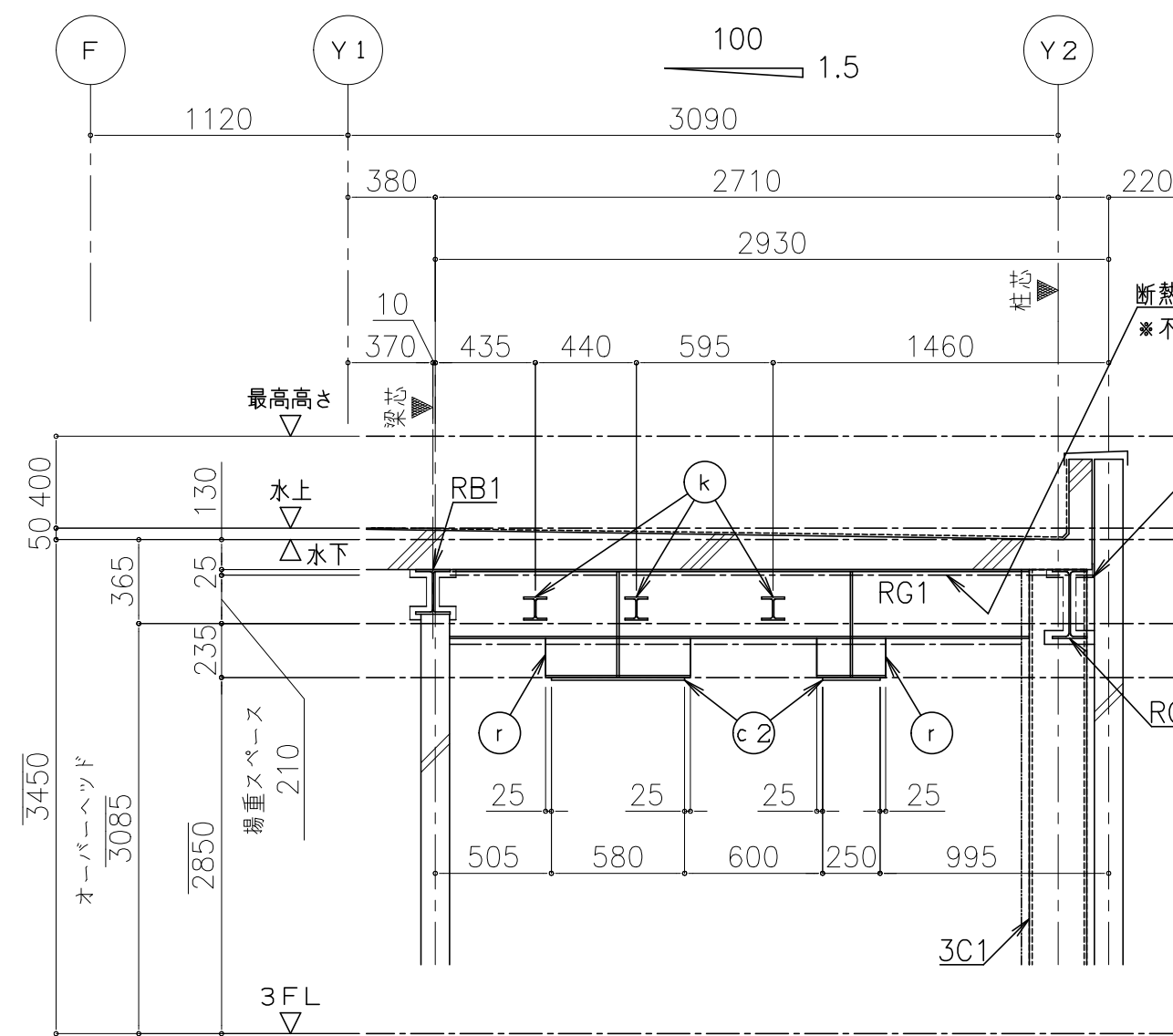
昇降路平面図 (1/30)
(頂部)
(3FL+3100)
断面B-B、C-Cは別紙に示す。

揚重ビームに掛かる荷重 No. 01

Q1 (kN)	Q2 (kN)	Q3 (kN)	Q4 (kN)	Q5 (kN)	Q6 (kN)
6.0	2.0	8.0	10.0	16.0	11.0

Q1～Q6はEV据付時に作用する

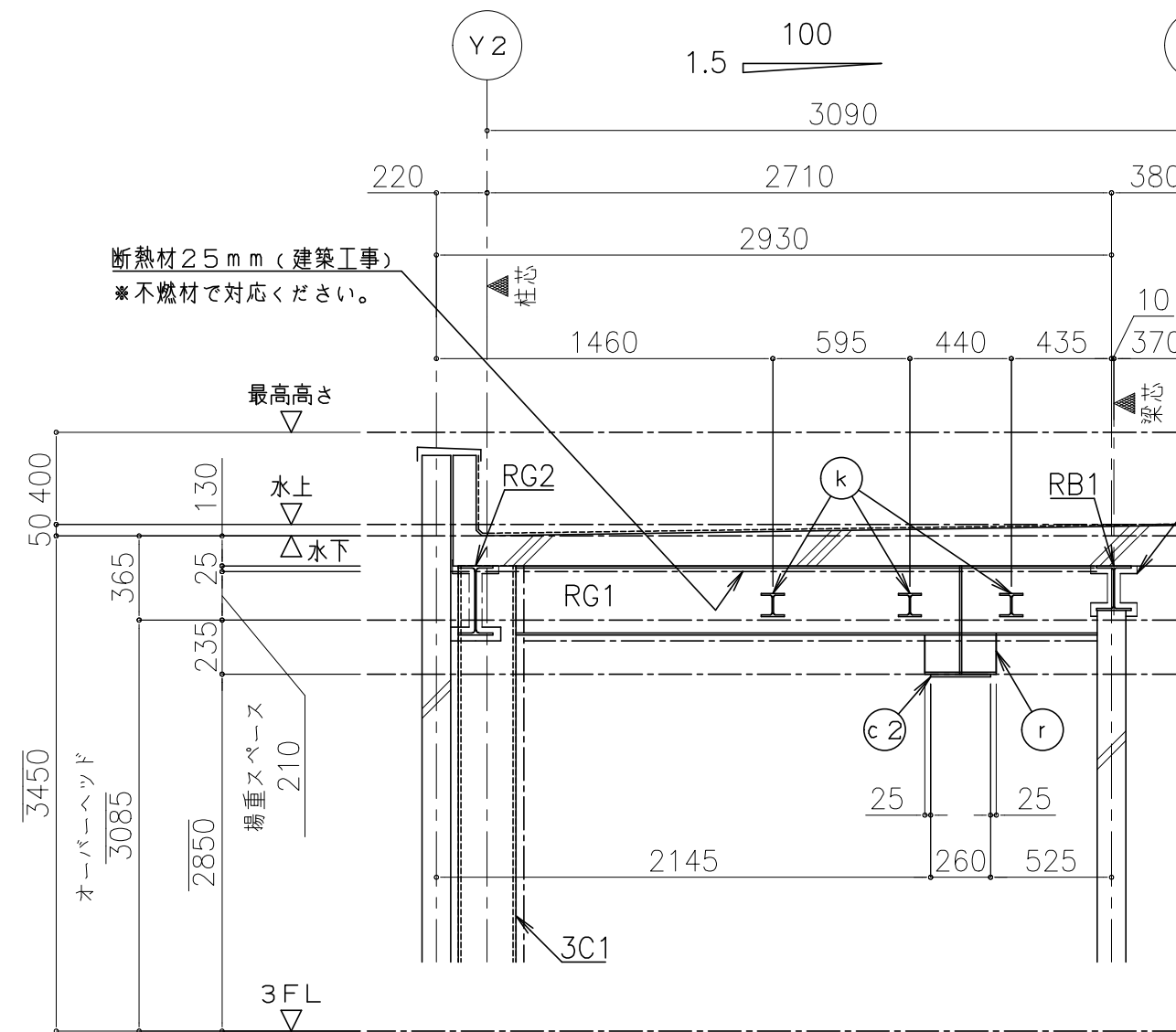
部材記号	名 称	部 材	工事区分
a	三方枠取付鋼材 (壁取付金物の昇降路内への突出不可)	L-75×75×6	建築工事
c2	レールブラケット取付用ファスナー (リブ付)	PL-t12	建築工事
k	揚重ビーム(ビーム残し)	H-100×100×6×8	建築工事
r	嵩下げ材	※CT-300×150×6.5×9 ※H-300×150×6.5×9を切断して利用。	建築工事



升降路頂部断面図 (1/30)

断面 B-B

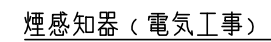
注) 昇降路頂部左右ファスナーは水平同一レベルで施工願います



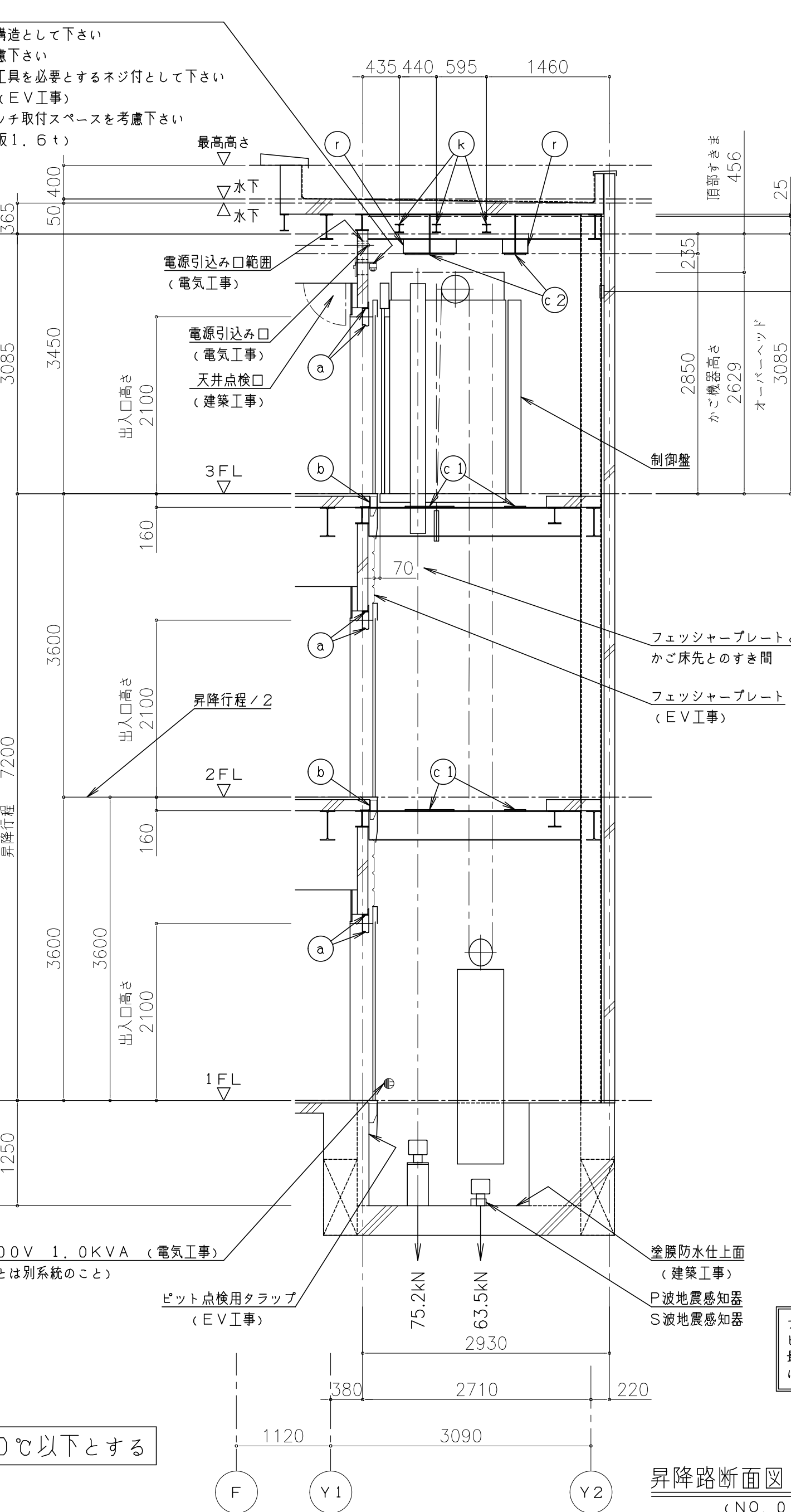
昇降路頂部断面図 (1/30)

断面 C - C

注) 昇降路頂部左右ファスナーは水平同一レベルで施工願います



- ・ 外部より点検可能な構造として下さい
 - ・ 雨水浸入が無い様配慮下さい
 - ・ 点検口は錠付または工具を必要とするネジ付として下さい
 - ・ E/V連動スイッチ付 (E/V工事)
 - ・ 点検口サイズはスイッチ取付スペースを考慮下さい
- (300口以内、鋼板 1.6 t) 最高



升降路断面図 (1/50)

(NO. 01)

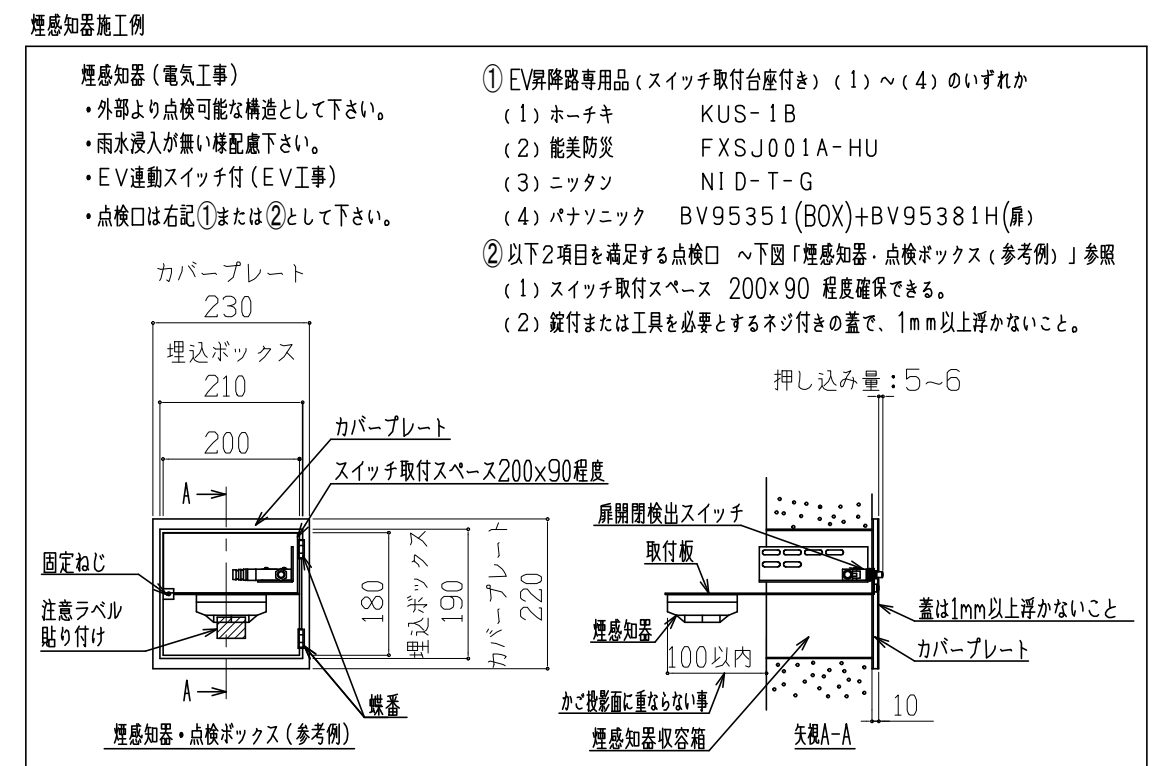
部材 記号	名 称	部 材	工事区分
a	三方枠取付鋼材 (壁取付金物の昇降路内への突出不可)	L-75×75×6	建築工事
b	敷居取付材	L-120×120×8	建築工事
c1	レールブラケット取付用ファスナー	PL-t12	建築工事
c2	レールブラケット取付用ファスナー (リブ付)	PL-t12	建築工事
k	揚重ビーム(ビーム残し)	H-100×100×6×8	建築工事
r	嵩下げ材	※CT-300×150×6.5×9	建築工事

※H-300×150×6.5×9を切断して利用。

電話中繼盤

電話線配管配線工事（電気工事）

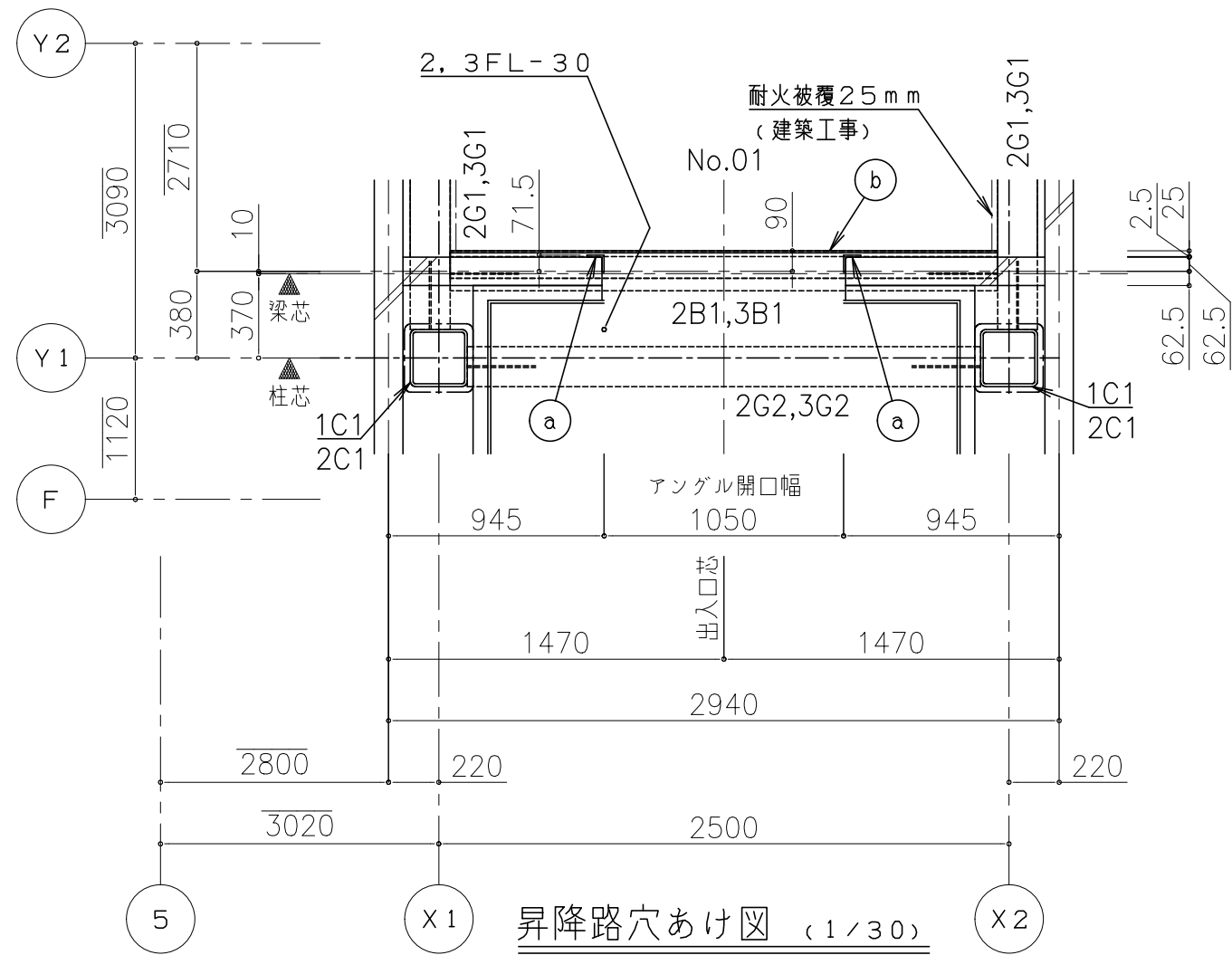
昇降路最上階制御盤から
最寄りの電話中継盤まで
PVC 0.65-4C



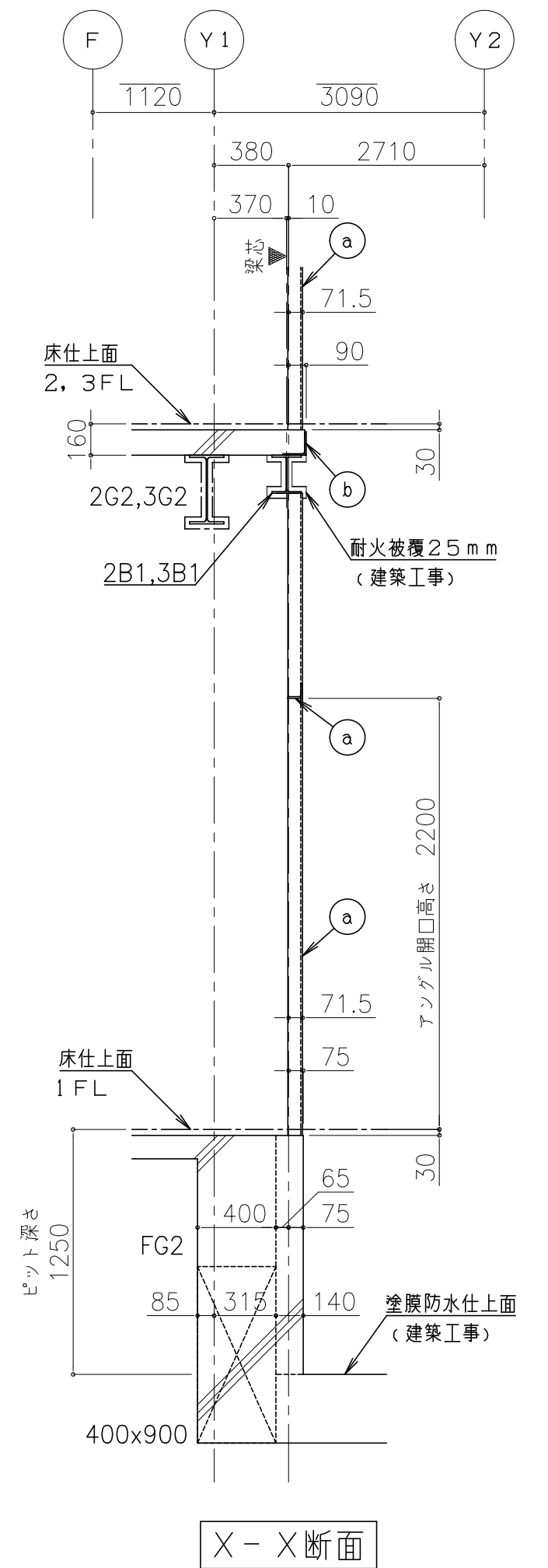
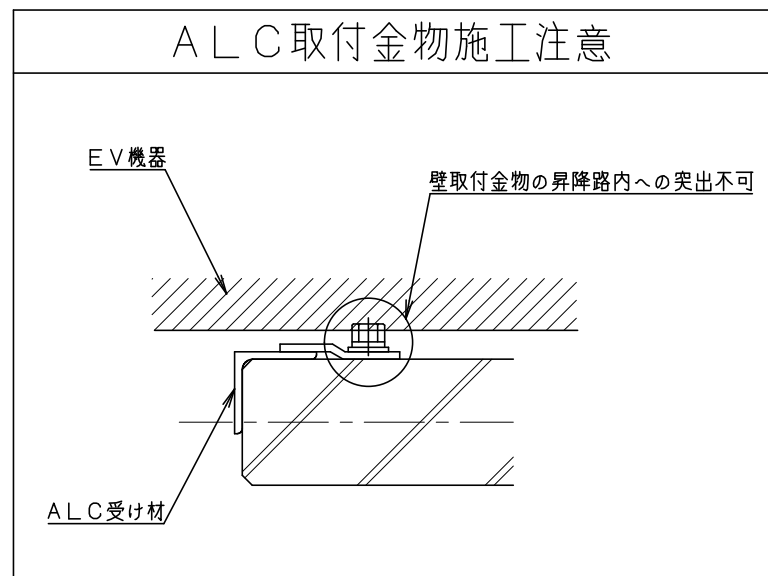
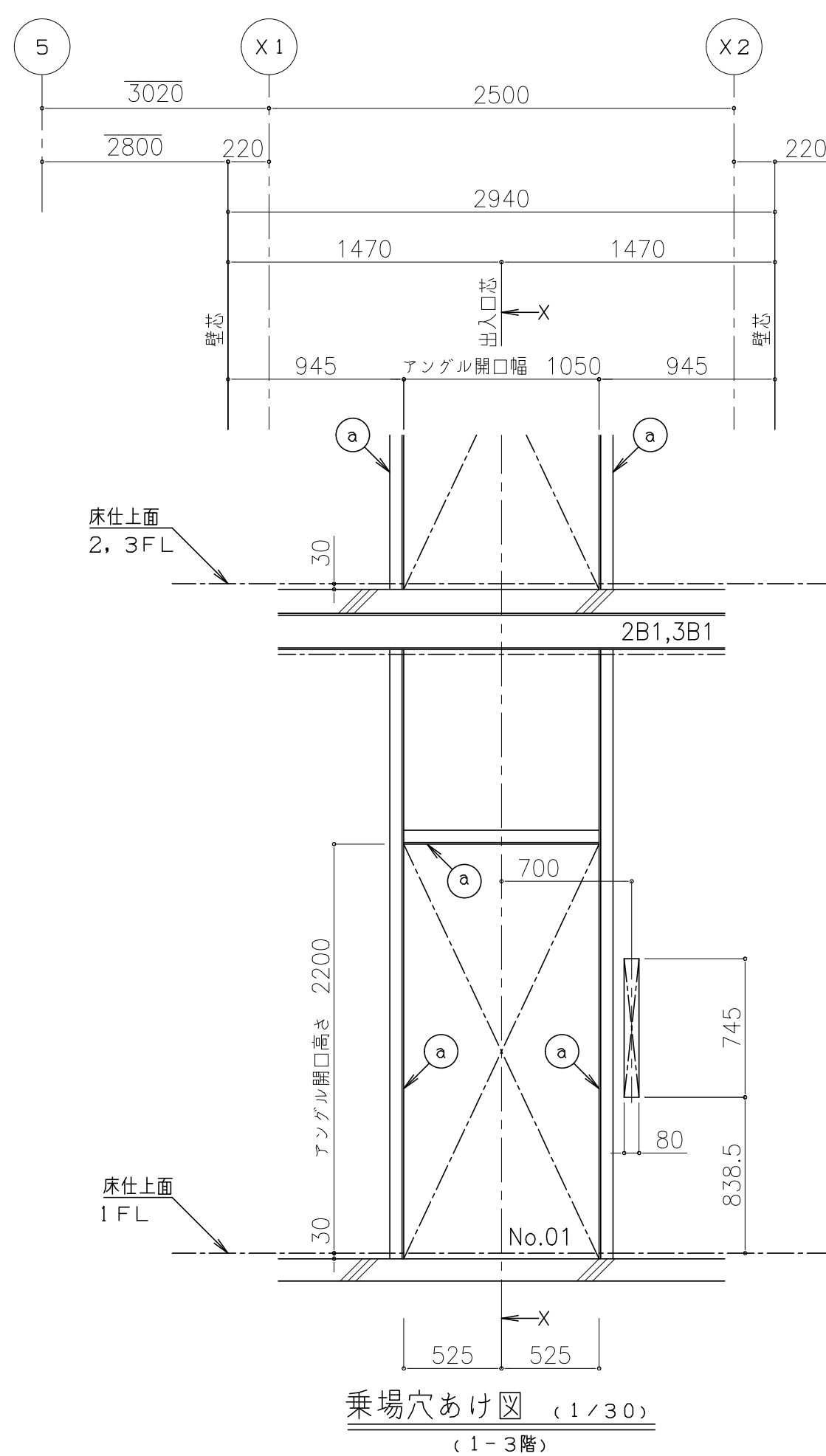
ブラケット取付のため、
ピット内の壁または梁は
最下階F.L.面まで立ち上
げて下さい（建築工事）

図面は塗膜防水仕上後の有効寸法です。
モルタル防水仕上の場合は仕上厚を考慮して下さい。

昇降路機器はピット底面・側面、
梁・壁（コンクリートの場合）に
あと施工アンカーにより取付を行います

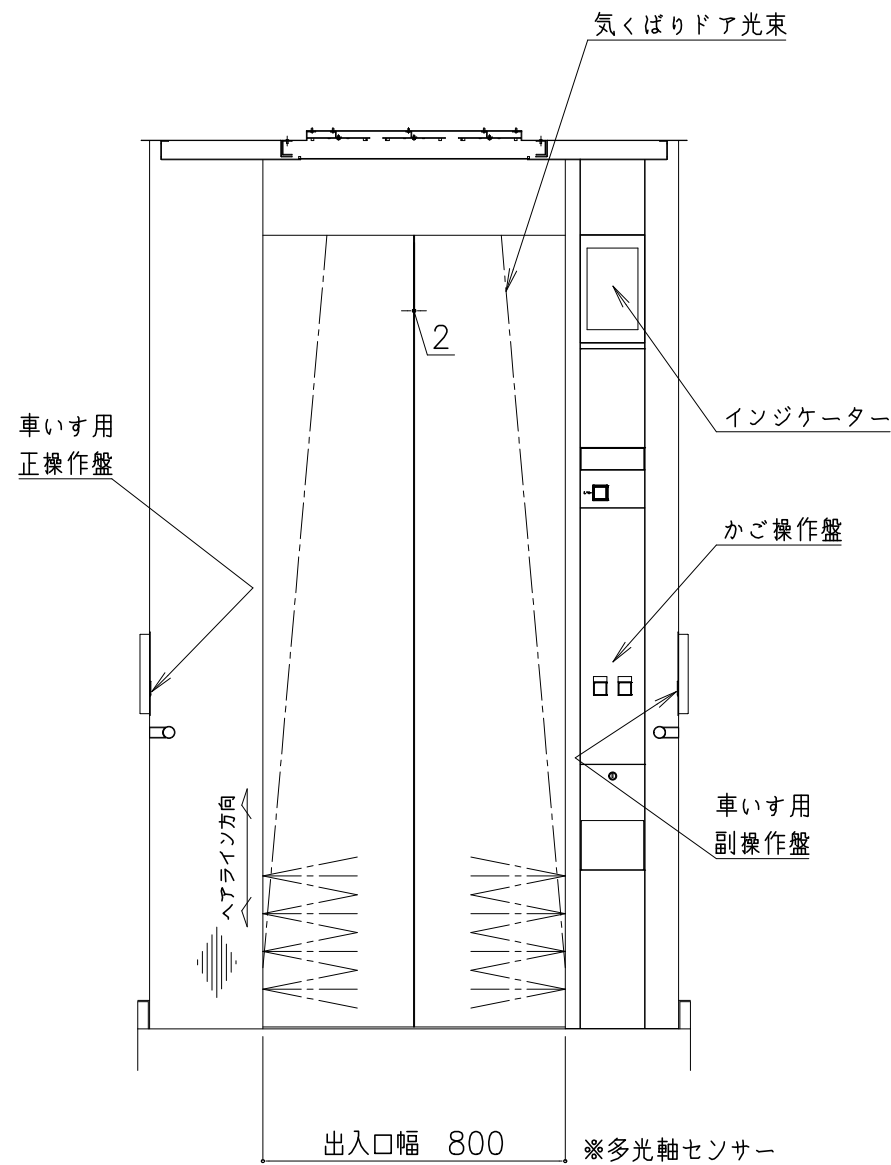


梁記号	階床	サイズ
1C1	2階	□-250×250
2C1	3階	□-250×250
2G1	2階	H-350×175
3G1	3階	H-300×150
2G2	2階	H-350×175
3G2	3階	H-300×150
2B1	2階	H-194×150
3B1	3階	H-194×150

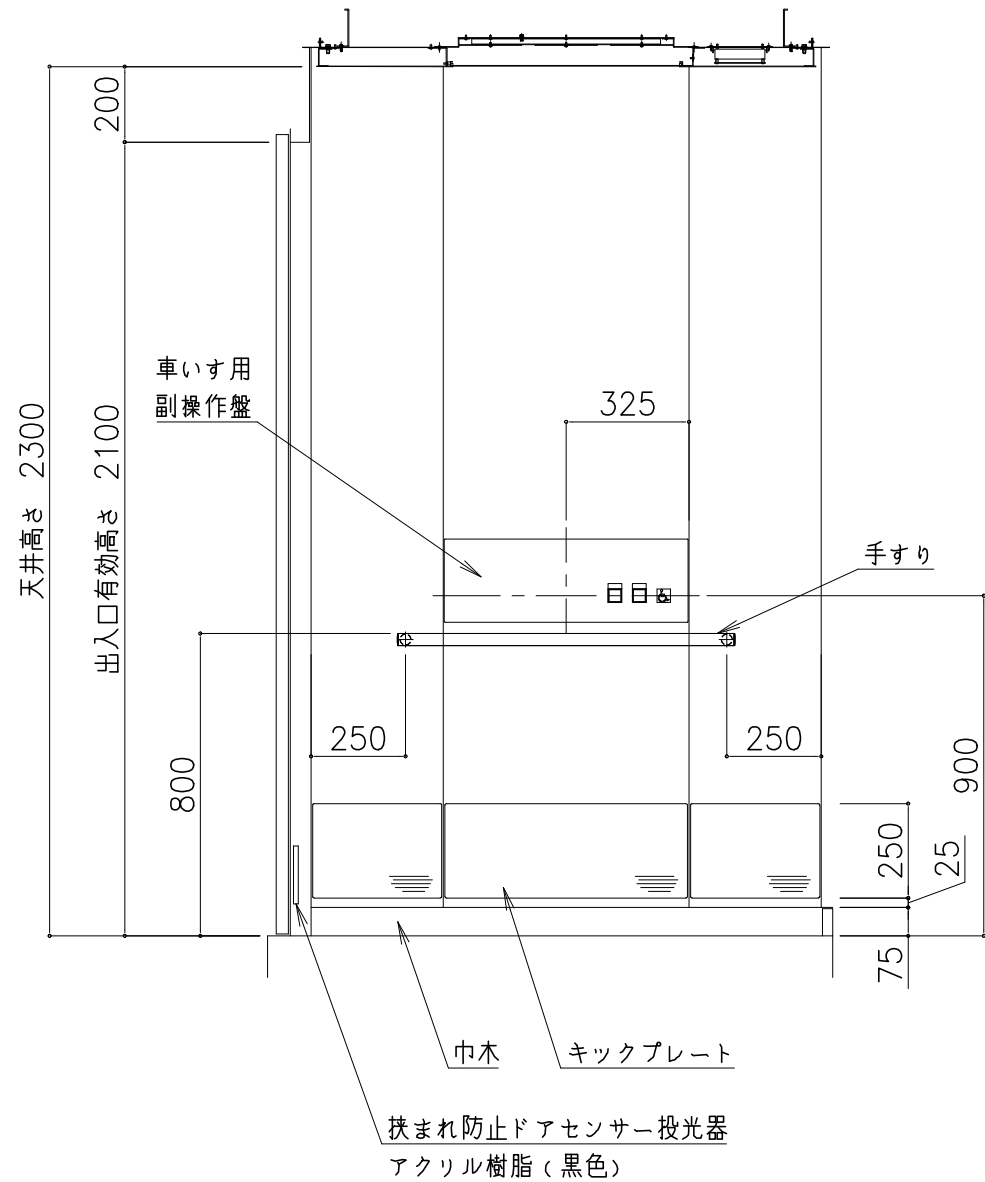


梁記号	サイズ
FG3	400×900

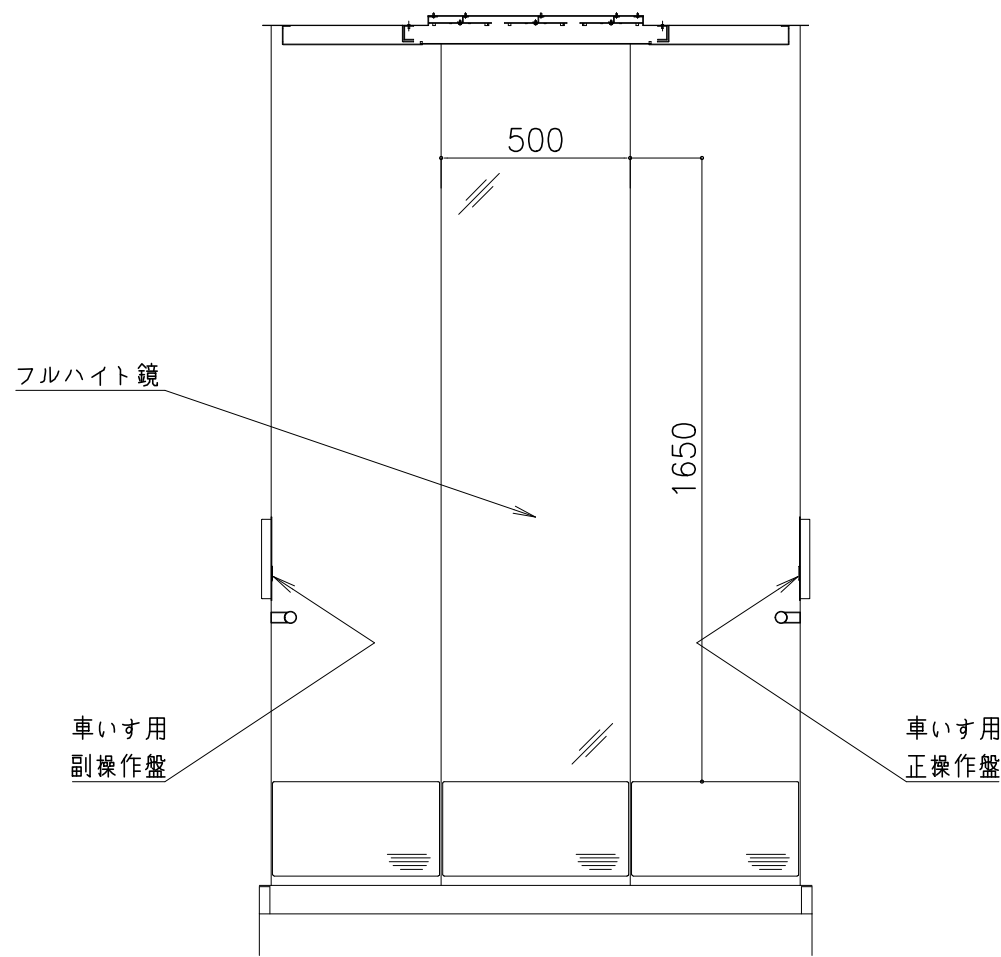
部材記号	名称	部材	工事区分
a	三方枠取付鋼材 (壁取付金物の昇降路内への突出不可)	L-75×75×6	建築工事
b	敷居取付材	L-120×120×8	建築工事



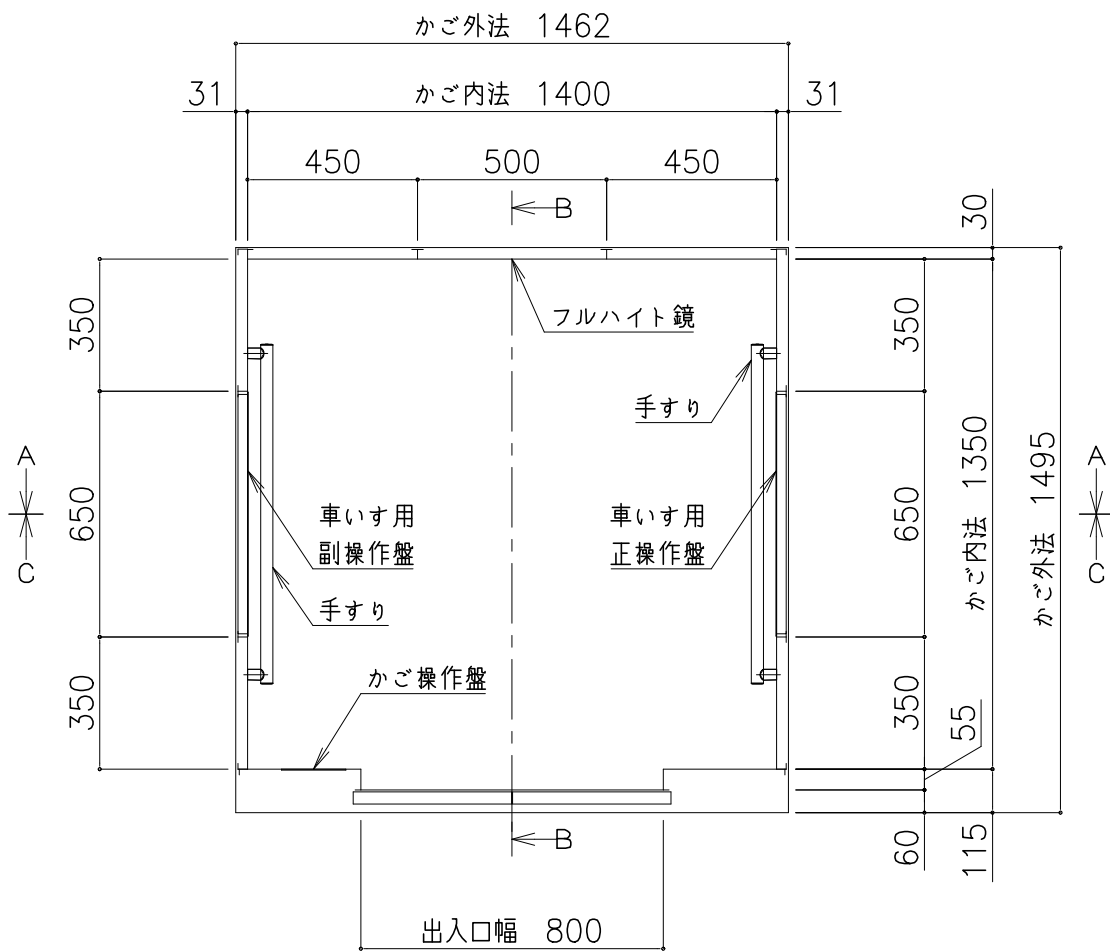
かご室正面図（矢視A－A）



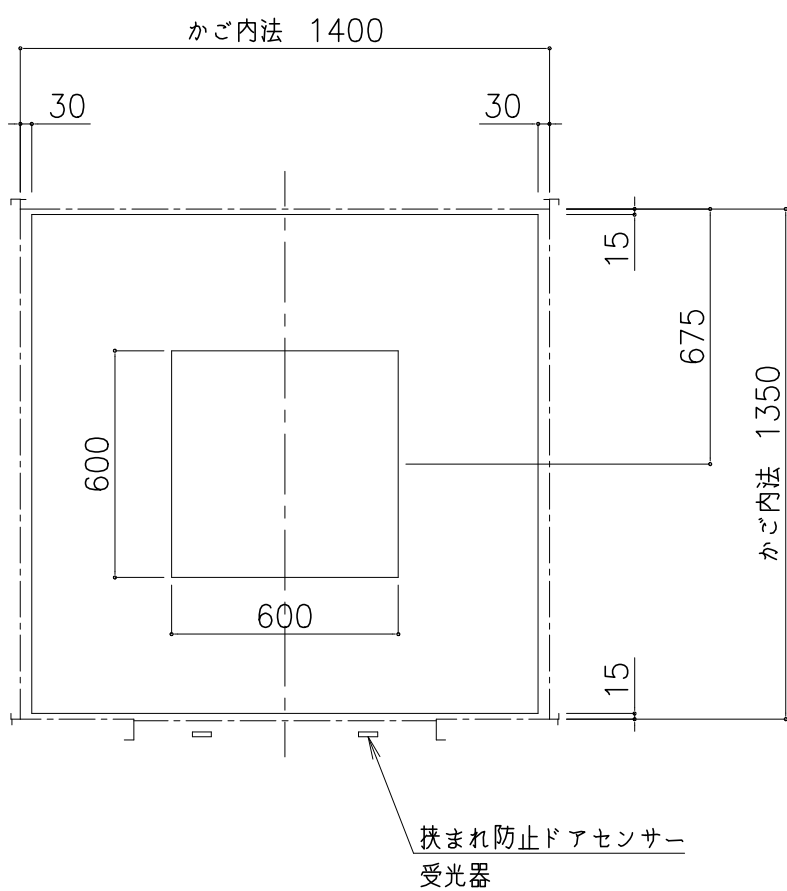
かご室側面図（矢視B－B）



かご室背面図（矢視C－C）



かご室平面図



天井伏図

意匠仕様	
天井	鋼板塗装仕上
換気装置	ファン
照明	乳白色樹脂照明板 LED照明（白色）
停電灯	主照明兼用式
壁	化粧鋼板
出入口上板	化粧鋼板
戸	化粧鋼板
袖壁・柱	ステンレスヘアライン仕上
巾木	アルミ製
床仕上部	樹脂タイル 2mm（メーカー標準タイル）
敷居	アルミ製
フルハイト鏡	ステンレス鏡面仕上 t1.5
手すり	ステンレスヘアライン仕上（φ32） キャップ：樹脂（パールメッキ） ブラケット：アルミ ブラケットカバー：樹脂（パールメッキ）
キックプレート	板厚2.0ステンレスヘアライン仕上：ビス無 高さ：床面より350mm
保護幕	磁石式（保護幕高さ標準：床面より上端まで1895mm）
床マット	あり